

第203回 全経簿記検定試験 上級 一工業簿記一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1 〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計 42 点〕

問 1

外部副費 〔 ⑥ 635,000 〕 円 外部副費 〔 ⑥ 315,000 〕 円

問 2

予定配賦率 〔 ⑥ 310 〕 円/kg

問 3 ()内も合わせて下記の点数

カッコ内に有利差異あるいは不利差異のいずれか適切なほうを記入しなさい。

材料副費配賦差異 〔 ④ 51,000 〕 円 (不利差異)
└─ 材料副費予算差異 〔 ④ 20,000 〕 円 (不利差異)
└─ 材料購入量差異 〔 ④ 31,000 〕 円 (不利差異)

材			料			(単位：円)
10/ 1	前月繰越	6,240,000	10/ 5	(仕掛品)	〔 ④ 5,000,000 〕	
/10	諸口	〔 7,665,000 〕	(/16)	(仕掛品)	〔 6,000,000 〕	
/23	諸口	〔 ④ 7,014,000 〕	(/31)	(材料消費価格差異)	〔 ④ 350,000 〕	
()	()	〔 〕	(/31)	(製造間接費)	〔 ④ 204,400 〕	
()	()	〔 〕	()	()	〔 〕	
()	()	〔 〕	(/31)	次月繰越	〔 ④ 9,364,600 〕	
〔 20,919,000 〕			〔 20,919,000 〕			

問題2 〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計 34 点〕

問 1 仕訳 1 つにつき、⑥点

借 方	金 額	貸 方	金 額
副 産 物	38,000	仕 掛 品	38,000

問 2

等価係数 連産品 A：連産品 B = 1 : 〔 ⑥ 1.2 〕

問 3

月末仕掛品原価 〔 ⑥ 994,000 〕 円

第 1 工程完成品原価

連産品 A 〔 ⑧ 2,946,039 〕 円 連産品 B 〔 ⑧ 3,213,861 〕 円

問題 3〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計 16 点〕

複合費とは 形態別には異なった原価を、特定の目的あるいは機能のために消費されたこと
によって 1 つの費目にまとめたものである。③

類似点：どちらも形態別には異なった原価をまとめている点が類似している。④

相違点：補助部門費は製造部門に配賦し、複合費は製造間接費に含めて製品に配賦する。④